

MODERN PRIMITIVE

阿曾藍人展

2021年3月20日(土) ~ 28日(日)



料金後納
ゆうメール

MODERN PRIMITIVE

阿曾藍人展

2021年3月20日(土)～28日(日) 会期中無休

営業時間 11:00～18:00 作家在廊日 3月20日

うつわノート 埼玉県川越市小仙波町1-7-6



阿曾藍人(ASO RANDO)プロフィール

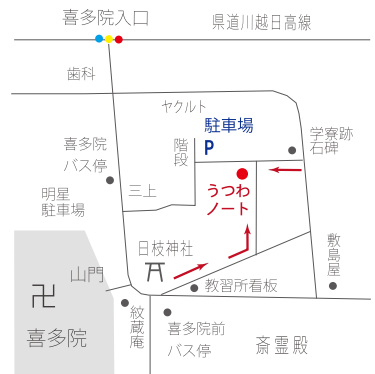
1983年 奈良県生まれ

2009年 金沢美術工芸大学大学院 陶磁コース修了

2010年 常滑市立陶芸研究所 修了

2021年 現在岐阜県美濃加茂市在住

岐阜県美濃加茂市の土器作家・阿曾藍人(あそ・らんど)さん弊店2回目の個展です。土器と言えば縄文時代や弥生時代を思い浮かべますが、阿曾さんは考古学的見地によってその姿を写すのではなく、あくまで現代的な表現手段として土器を選んでいきます。その造形は彫刻的なアプローチに近く、意識で形状をコントロールした上で野焼きという原始的な焼成方法を取っているのが特徴です。阿曾さんの興味は、土の原始性を有した現代的な造形なのです。例えるなら人の手の入らないままの山林が自然の美なのか、あるいは茶庭のように様式化された自然がより自然の美しさを表すのか。阿曾さんの土器における原始性は、人為的に抽象化することでむしろその本質を剥き出しにしようとする試みのように思えます。野焼き作品に取り組むのは大学時代から。低温で土を焼いて生まれるレアな土の表情にリアリティを感じ、土器ひと筋で現在に至っています。土器は1万年以上も前に人類が火によって物質の化学的变化を応用した最初の道具であり、同時に文明を大きく飛躍させました。一方で炎の神秘的な現象から生れる土器は、単なる道具ではなく、人々の精神に深く作用する憑り代でもあったでしょう。私たちが土器に魅せられるのは、失われた原始性が未だに心の奥底に潜んでいるからではないでしょうか。阿曾さんの現代土器から、どうぞあなたの原始の声を呼び起こして下さい。 店主



ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6

TEL 049-298-8715

MAIL utsumonote@gmail.com

電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分

本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分

バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり]～[喜多院前]

駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス]～[喜多院]

車：ギャラリー専用駐車場3台分有